

(様式9)

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 13日

事業所名 多機能型事業所ちやちやまる

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

		チェック項目	評価			工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容及び改善目標
			はい	どちらとも いえない	いいえ		
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			活動スペースと離れたところに静かに落ち着ける部屋を用意して対応している。	必要に応じた対応は臨機応変に行うようにしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	6			配置基準を満たした人員を配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		6			建物の構造上バリアフリーは難しいですが、配慮が必要な児童に関しては職員間で情報共有して対応している。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6			発達支援、家族支援、地域支援が取り込まれたサービス利用計画に基づき個別支援計画を立ててモニタリング、保護者さまと話し合い具体的な支援方法を考えている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			行っている。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6				
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			日々の振り返りや、研修を通して支援の統一を図るようにしている。	今後も継続して行っていきながら、支援の専門性を高めていきたい。
適切 な 支	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			保護者との情報共有を密に行い状況に合わせた計画を作成し支援行っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			直ぐ見直せるように使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			職員間で振り返りは大切にしながら活動を考えるようにしている。	その時の状況に応じて対応の検討を図りながら行うようにする。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			支援計画に基づき、個別支援や、集団活動をしながら、活動が固定しないよう工夫している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6			長期休みは色々なイベントを考え、課題や支援の内容も起案にて職員間で共有し、活動している。	

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容及び改善目標	
援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6		作成している。	状況に応じて臨機応変に対応しつつ、課題点は振り返りながら次の活動に活かすようにしている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		その日のミーティングで確認している。	今後も継続して、日々の振り返りやミーティングを行い、よりよい支援を検討していく。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6		その日のミーティングで確認し、日誌にて共有している。	今後も継続して、日々の振り返りやミーティングを行い、よりよい支援を検討していく。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		その日のミーティングで確認し、日誌にて共有している。	引き続き継続して行うようにする。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6		行っている。	引き続き継続して行うようにする。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6		固定化しないよう活動を行っている。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6		必要に応じて資料を作成し、情報共有を行ったうえで参画している。		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6		必要に応じて依頼し、連絡を入れたり、書面でいただくようにしている。	新学期には年間計画や下校時刻変更等把握の為、学校に連絡を入れる。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		2		該当者なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	1		必要に応じて行うこともある。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				該当者なし	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5				
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			6		今のところ活動していないが機会があれば交流を考えている。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			6		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			必要ツールを利用して情報共有している。	送迎時や、連絡帳のみでは伝えきれない所はありますので、保護者様との情報共有は個別時間を設けて今後も電話対応等も行っていきたい。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2		4			

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容及び改善目標
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			連絡帳、電話、メールのツールからいつでも相談しやすい環境を作っている。	今後も継続して行っていきたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			5		コロナの影響で開催予定なし。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6				
	35	個人情報に十分注意しているか	6			職員間で管理を徹底している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2		4		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			それぞれの対応マニュアルに基づいた研修を行い、職員間で周知しています。避難訓練の開催や、災害時の対応は書面にてお知らせしています。今年度は新たに「社内置き去り防止安全装置」を取り付けている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			地震、火災、水害、防犯について年4回実施している。その都度対応し保護者にはメールや文書でお知らせしている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			研修を行い対応の仕方を共有している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1		研修を行い対応の仕方を共有している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			研修を行い再発防止に務めている。	今後も研修を通して振り返りながら再発防止に務めていく。